

提出日 2022 年 9 月 18 日

バーチャル留学成果報告書

【参加者A】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	バーチャル留学					
受講期間	西暦 2022 年 8 月 22 日 ~ 2022 年 9 月 16 日(約4週間)					
留学先 (国・地域)	オーストラリア	留学先大学名	ウーロンゴン大学			

1. 受講した理由、目的・目標	<p>私がこのバーチャル留学を受講した理由、目的・目標は、1つ目に実際にオーストラリアに行くよりも気軽に参加できたからです。留学の費用も実際に行くよりもすごく安いし、自分の家で行うので新型コロナウイルスの心配もなくてよかったので参加しました。</p> <p>2つ目は自分の英語力を上げたかったからです。私は将来、海外に行きたいと考えていたので日本にいて、本場の英語を学べると思ったので参加しました。</p> <p>目標は日常会話程度の英語を話せるようになることでした。</p>
2. 受講時の活動内容 (授業、プログラム内容など)	<p>活動内容は最初の週はキャンパスツアーやシドニーツアーがあり、オーストラリアのスラングや先住民族のアボリジニのことを勉強しました。</p> <p>2週目はオーストラリアの動物を勉強して動物園のツアーに行きました。また現地の生徒に日本のことについて質問されたりしました。</p> <p>3週目はオーストラリアの食べ物について勉強して実際に先生が作っているところを見せてくれました。別の日にはオーストラリアの就職についてのプレゼンテーションを聞きました。</p> <p>最後の週は植物園のツアーがありました。また現地の学生と話す機会が2回ありました。</p> <p>1週間に一回ぐらいのペースで自分でプレゼンテーションを作りみんなの前で発表する時間などもありました。</p>
3. 受講の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	<p>バーチャル留学が始まる前と、終わった今の自分の英語力を考えると少しは上がったと思います。</p> <p>最初の週は緊張とかもあって、授業についていけるのに必死で英語も聞き取れないこともありましたが、だんだんと慣れて緊張もなくなり余裕をもって課題や授業に取り組めるようになりました。また自信をもって英語を話せるようになりました。今までは自信無さげに話してましたが、このバーチャル留学を終えると自信を持って英語を話せるようになったと思います。</p> <p>発見したことや、感じたことはYesやNoで会話を終わらせない方が良いということです。YesやNoで終わろうとすると、会話が終わってしまいそうになったことがあったので、驚きました。</p>
4. 受講経験を今後、どのように活かしますか	<p>このバーチャル留学を経て、自分の英語力に自信が持てるようになりました。なので、授業でも積極的に自分から発言をしたり、英語の授業でできるだけ英語で話せるようになりたいと思いました。</p> <p>また、自分の発音の仕方やまだ知らない単語などの問題点も見つけることができたので、授業などで勉強したいなと思いました。</p> <p>この受講経験を活かして実際に海外へ行ったときは、どんな感じだったかとか、こういう言い方じゃないと通じないとかを思い出したいなと思いました。</p>
5. 自由記述	オーストラリアに絶対に行きたいなと思いました！！

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

**海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート内容（参加前/参加後共通）**

回答者は以下の各項目について、それぞれ1～5のいずれかを選び回答する。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる |
| 3. どちらでもない | |

1. あなたが学習しようとしている言語の能力についてお伺いします。

- 学習する言語の全体的なコミュニケーション能力に自信がある。
- 特にリスニングの（聞く）能力に自信がある。
- 特にスピーキングの（話す）能力に自信がある。
- 特にライティングの（書く）能力に自信がある。
- 特にリーディングの（読む）能力に自信がある。

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。
- 受講するプログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。
- 自分が就きたい仕事が決まっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

2022年度前期 バーチャル留学 参加前後における意識調査アンケート結果

ウーロンゴン大学（オーストラリア） 対象：1名 （2022/8/22-9/16実施）

【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力	2.2	2.6
2 自己効力感	2.5	3.9
3 異文化意識	4.4	4.8
4 キャリア展望	2.8	2.5
5 全体(平均)	3.0	3.5

